

【17用語】

所伝（しよでん）…文書または口碑にて後世に伝えること

文辞（ぶんじ）…文章のことば、文詞

古色蒼然（こしよくそうぜん）…いかにも古びて見えるさま

径庭（けいてい）…かけ離れたこと、大きな違い、へだたり

宣下（せんげ）…天皇の命（宣旨）を下すこと

刻載（こくさい）…石や板に文字を刻んで載せること

推算（すいさん）…推定により計算すること

荊棘（けいきよく）…いばらなどが生えて荒れ果てた土地、乱れた状態

輓近（ばんきん）…近ごろ、最近

好事（こうず）…変わった物事を好むこと、物好き

補理（しつらえ）…構え作ること、設け整えること

官護（かngo）…管理して保護すること

搨本（とうほん）…石刷りにした書物、ここでは拓本のことか

修営（しゅうえい）…繕い営むこと、営繕

【17解説】

高崎市南部に所在する国の特別史跡・上野三碑（山上碑・多胡碑・金井沢碑）は、平成二十九年十月ユネスコの「世界の記憶」に登録された。このうち江戸時代から知られていた多胡碑は、古代の和銅四年（七一）に多胡郡を設置した際の記念碑で、多賀城碑・那須国造碑とともに日本三古碑の一つに数えられ、明治前期からその保存措置が図られてきた。

本文書は、第二次群馬県の県令となった楫取素彦が、熊谷県権令のときの明治八年（一八七五）十月、その多胡碑を保護するために、官費で雨覆いや木柵等を設置しようとしたことを示すものであり、碑の拓本も添えて内務省に伺いを立て、指示を仰いでいたことがわかる。ちなみに、新政府は明治四年五月に「古記旧物保存方」という太政官布告を各地方官庁に発し、全国的に古記旧物を調査し保存すべきことを通達している。